

承認	議長	副議長	事務局長	総括参事	合議	担当

様式第1号

令和5年10月4日

真庭市議会

議長 小田 康文 様

真庭市議會議員

吉原 啓介



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

- |                |  |     |           |
|----------------|--|-----|-----------|
| 1 区 分          | <b>調査研究</b>  | 研修会 | 要請・陳情活動   |
| 2 訪 問 先        | 幕張メッセ  |     |           |
| 3 内 容          | ①NexTech Week<br>②XR総合展<br>③メタバース総合展<br>※DX,XR,メタバースにかかる最新技術を体験できる展示会の同時開催 |     |           |
| 4 行 程          | 別紙のとおり   |     |           |
| 5 事務局から訪問先への依頼 | 必要   | ・   | <b>不要</b> |

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



## 行程表

令和5年10月23日	移動日 ※当日15時からホテルザセレスティン東京芝にて同ホテル料理長に地域振興事業の產品（プリンセスサリー）の説明を行うため、この日に移動する。	9:55	岡山空港（※真庭→空港は自家用車）	ANA
		11:10	羽田空港	
		11:29	羽田空港第2ターミナル	東京モノレール
		11:46	浜松町	JR
		11:58		
		12:40	北浦和	
令和5年10月24日				
令和5年10月25日 令和5年10月26日	移動	8:40	北浦和	JR
		9:55	海浜幕張	
令和5年10月25日 令和5年10月26日	幕張メッセ	10:00～ 18:00	①NexTech Week ②XR総合展 ③メタバース総合展	
	移動	18:07	海浜幕張	JR
		19:20	北浦和	
令和5年10月27日	移動日	5:54	北浦和	JR
		6:43 6:50	浜松町	
		7:08	羽田空港第2ターミナル	東京モノレール
		7:55	羽田空港	ANA
		9:10	岡山空港（※空港→真庭は自家用車）	

※宿泊　さいたま市



## 報 告 書

令和5年10月27日

真庭市議會議長 小田 康文 殿

報告者 真庭市議會議員 氏名 吉原 啓介



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

## 記

## 1. 視察イベント

## ①NexTech Week

- ・メタバース総合展
- ・XR 総合展
- ・デジタル人材育成サポート EXPO

## ②Japan IT Week

- ・IoT ソリューション展
- ・データセンター&ストレージ EXPO
- ・ソフトウェア&アプリ開発展
- ・メタバース活用 EXPO
- ・デジタルマーケティング EXPO
- ・AI・業務自動化展

## 2. 日時

令和5年10月25日（水）10時～18時

令和5年10月26日（木）10時～18時

## 3. 場所

幕張メッセ

## 4. 視察目的

メタバースや XR（クロスリアルティ＝仮想空間、または現実空間と仮想空間の融合による情報技術）にかかる技術や関連企業動向にかかる情報収集を行い、政策や施策の提案・提言につなげるため。



## 5. 所感

メタバース、XR 関連のほか、IT にかかる広範な（合計 9 テーマ）イベントの同時開催であり、多くの企業が出展ブースを設けていた。

真庭市のかかえる顕在的・潜在的な課題に少しでも関連しそうなカテゴリーに絞ったものの、1 日ではとても回れないため 2 日にわたり約 40 社にヒアリングを行った。

真庭は市域が広大で人口密度が低く、さらに人口の約 4 割は南部に集中しているため、辺地の過疎進行と集落存続の危機は深刻。また、出生数の減少に伴い通学面の問題も含めた小中学校の教育のありかたも喫緊の課題となりつつある。

辺地エリアや交通弱者の生活利便性向上、またデジタル地域通貨の利用拡大のためのバーチャル商業施設、義務教育の環境整備のためのオンラインスクールの可能性等、バーチャルシティ構築の可能性を探ることが主目的であったが、これらに関してはパッケージシステムが存在するわけではないので、いずれかの事業者を選定して市の課題抽出・将来像を共有化したうえで構築の作業を行っていく、というプロセスを経るしかない。

一方、さまざまなブースを回る中で、ごく基本的なことではあるが、オンラインでの位置・生体情報確認が人の見まもりの上でとても有用であることを再認識できた。

高齢者や障がいを抱える人達のケアやサポートにこれらの技術を生かすことも検討すべきと考える。

また、出展している事業者には、韓国・台湾・中国・ベトナムといった外国企業も目立ち、国内企業以上に先進的な取り組みを行っているように見受けられた。今後、市の DX 推進においても外国企業との連携の可能性を検討してもよいのではないか。

その他、IT 人材育成プログラム提供や人材派遣事業を行う事業者も多く出展していた。今回の視察目的に直接関連しないため、詳しく話を聞くことはしなかったが、急速に発展・変化する情報テクノロジー環境への対応やシステム構築のためには市職員による内製化ではなく、外部人材を活用した専門組織等の体制構築の必要性を感じた。

余談ながら、会議の議事録作成ツールについても、60 分の会議が 4 分程度で、かつ高精度で文字起こしできるシステムについての話も聞いてきた。議会 ICT 推進だけでなく事務局の負担軽減面でもすぐに役立つものであり、検討に値するものではないかと思われる。

詳細資料については関係部局と適宜共有し、市の業務改善や市民生活の利便性向上活性化に向けた情報提供とともに検討を働きかけたい。

以上

